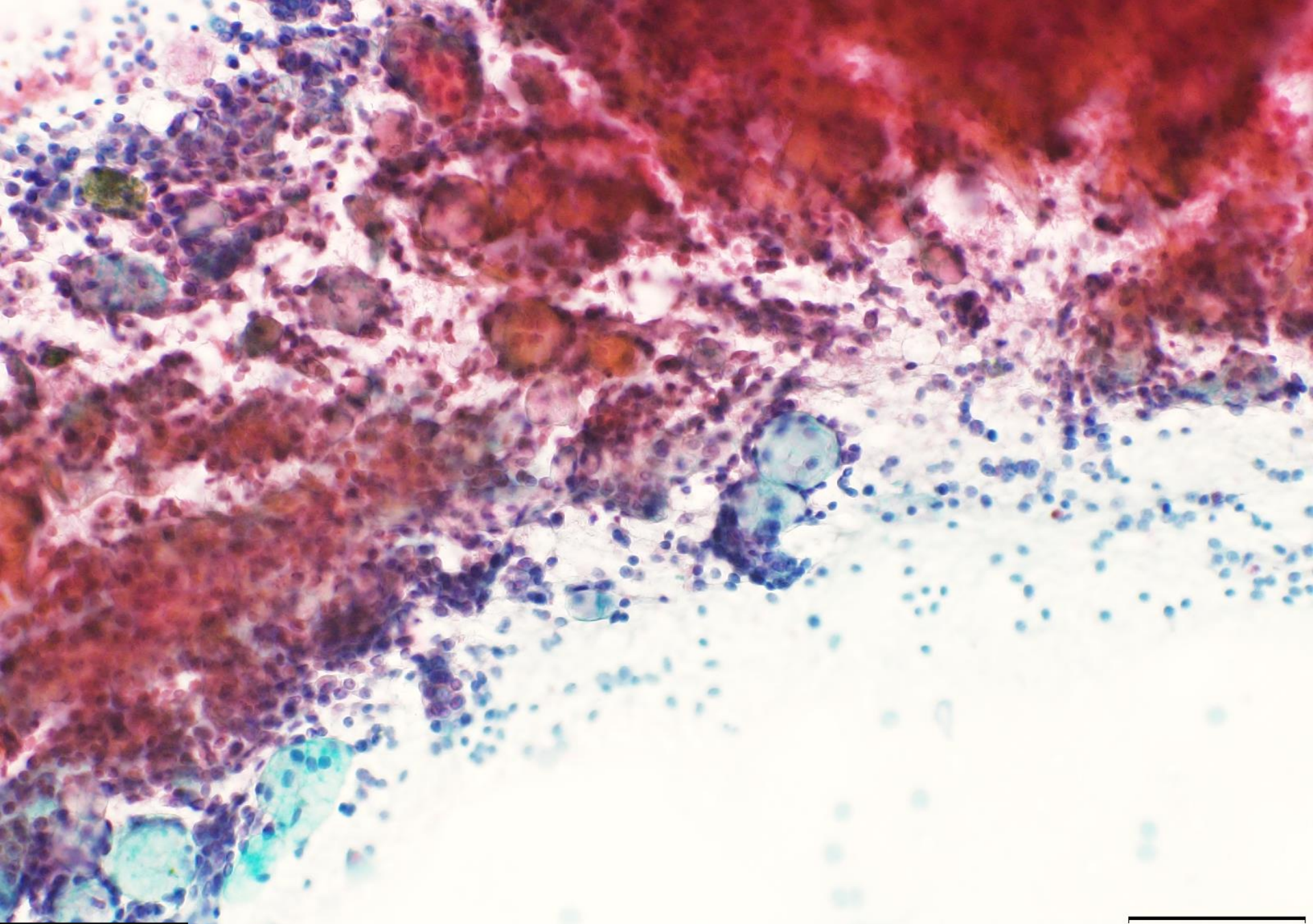


症例1 唾液腺

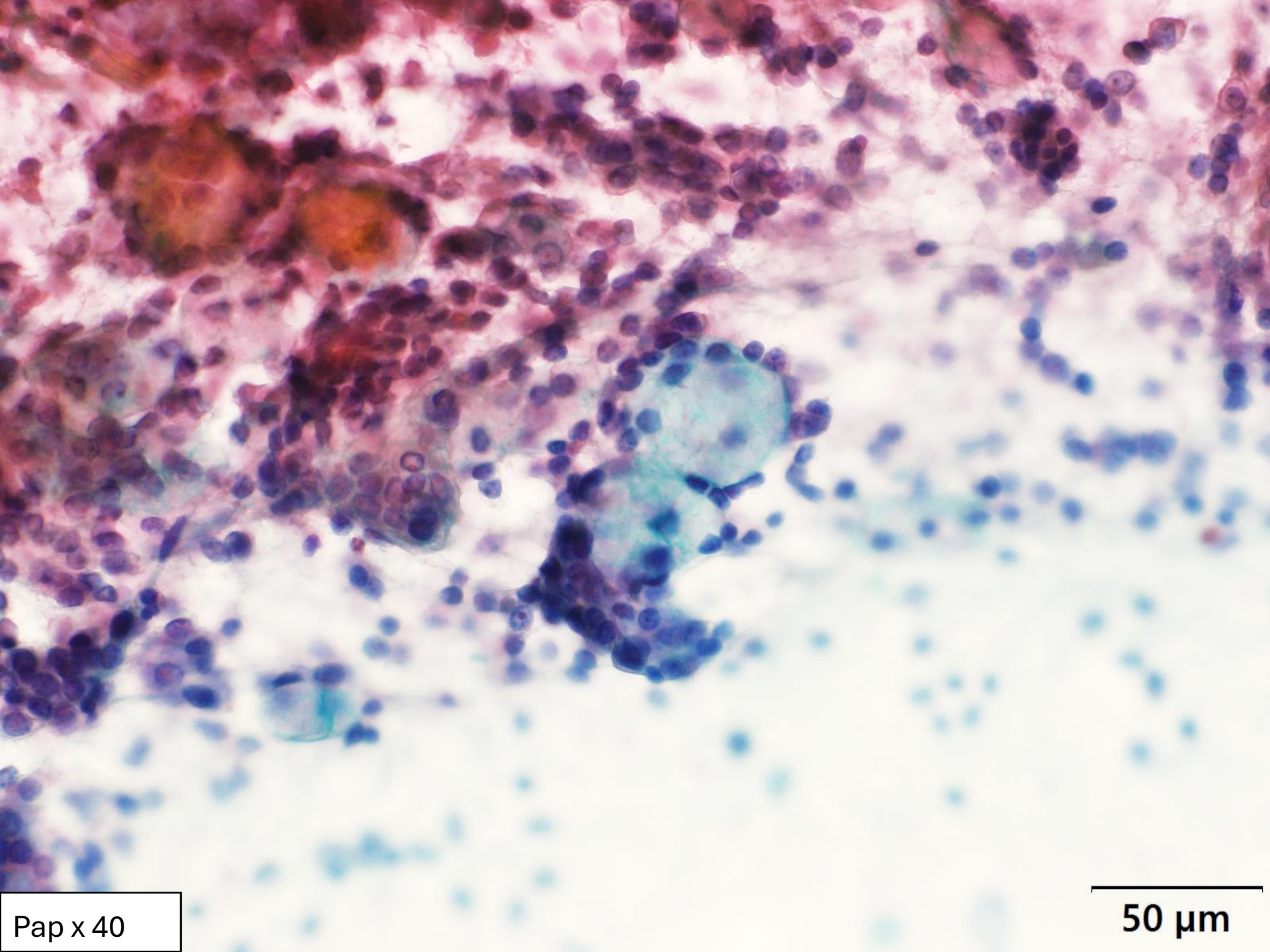
信州大学医学部附属病院 臨床検査部
小倉 大輝

症例解説



Pap x 20

100 μ m

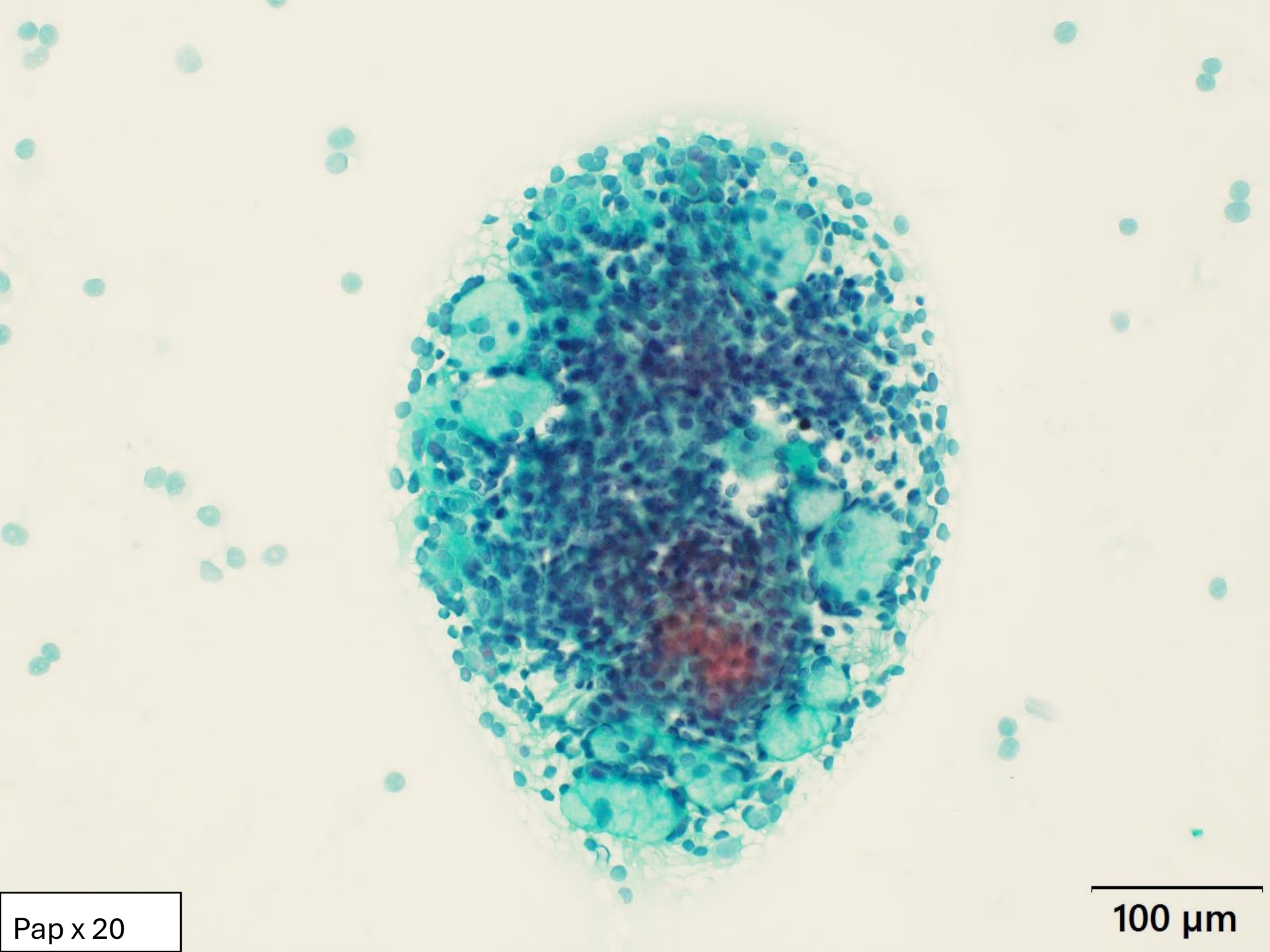


Pap x 40

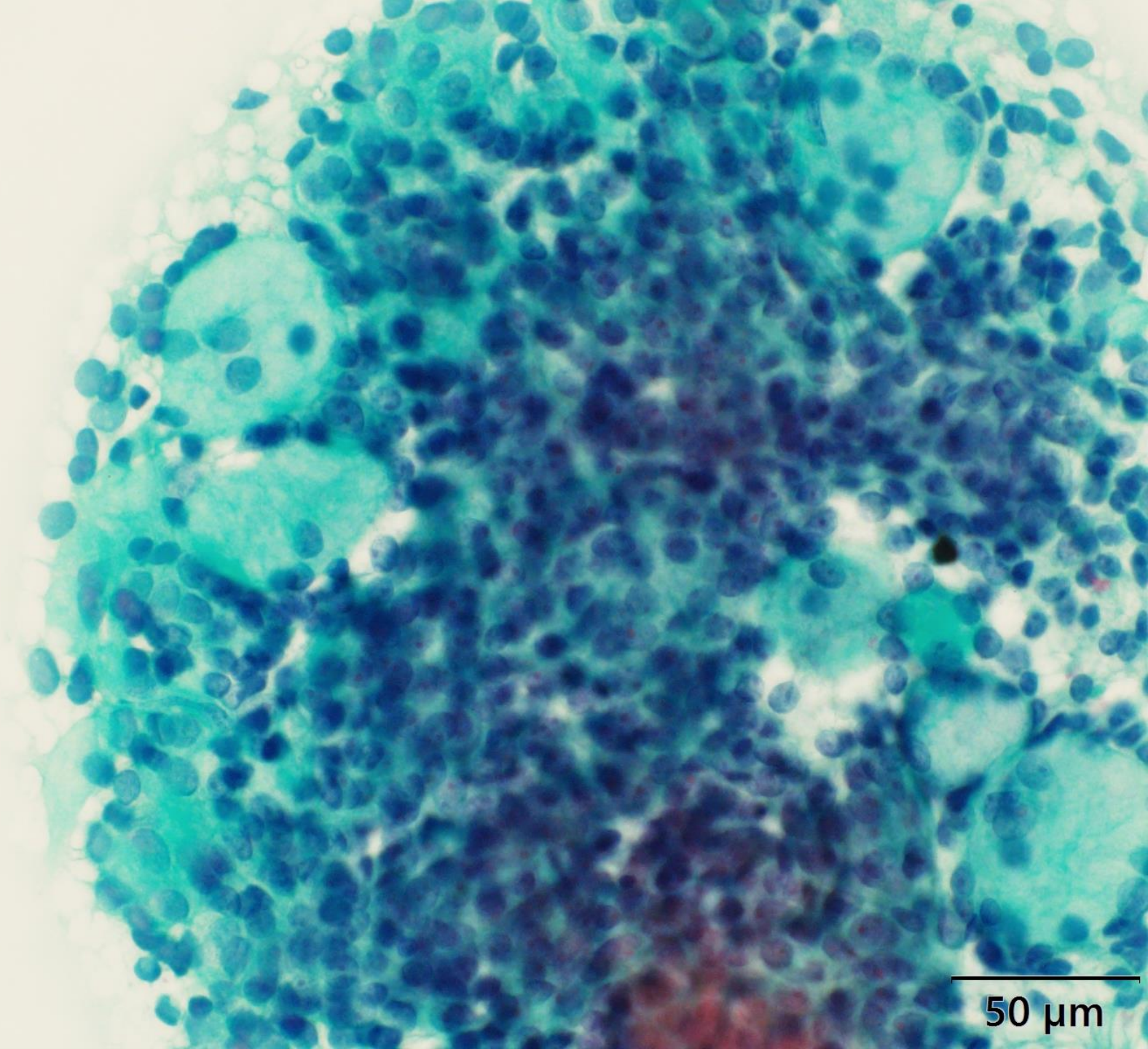
50 μm

Pap x 20

100 μm



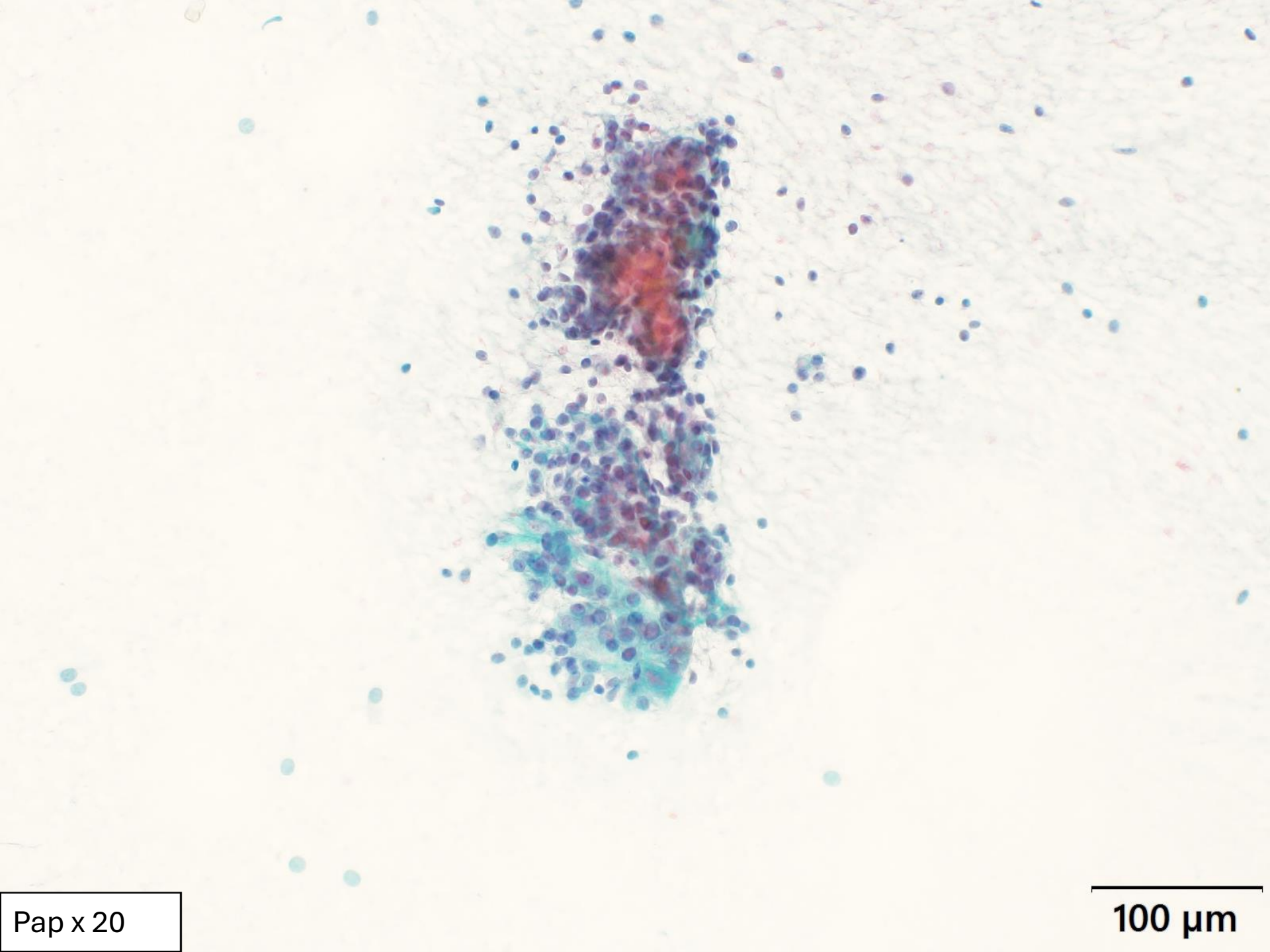
Pap x 40

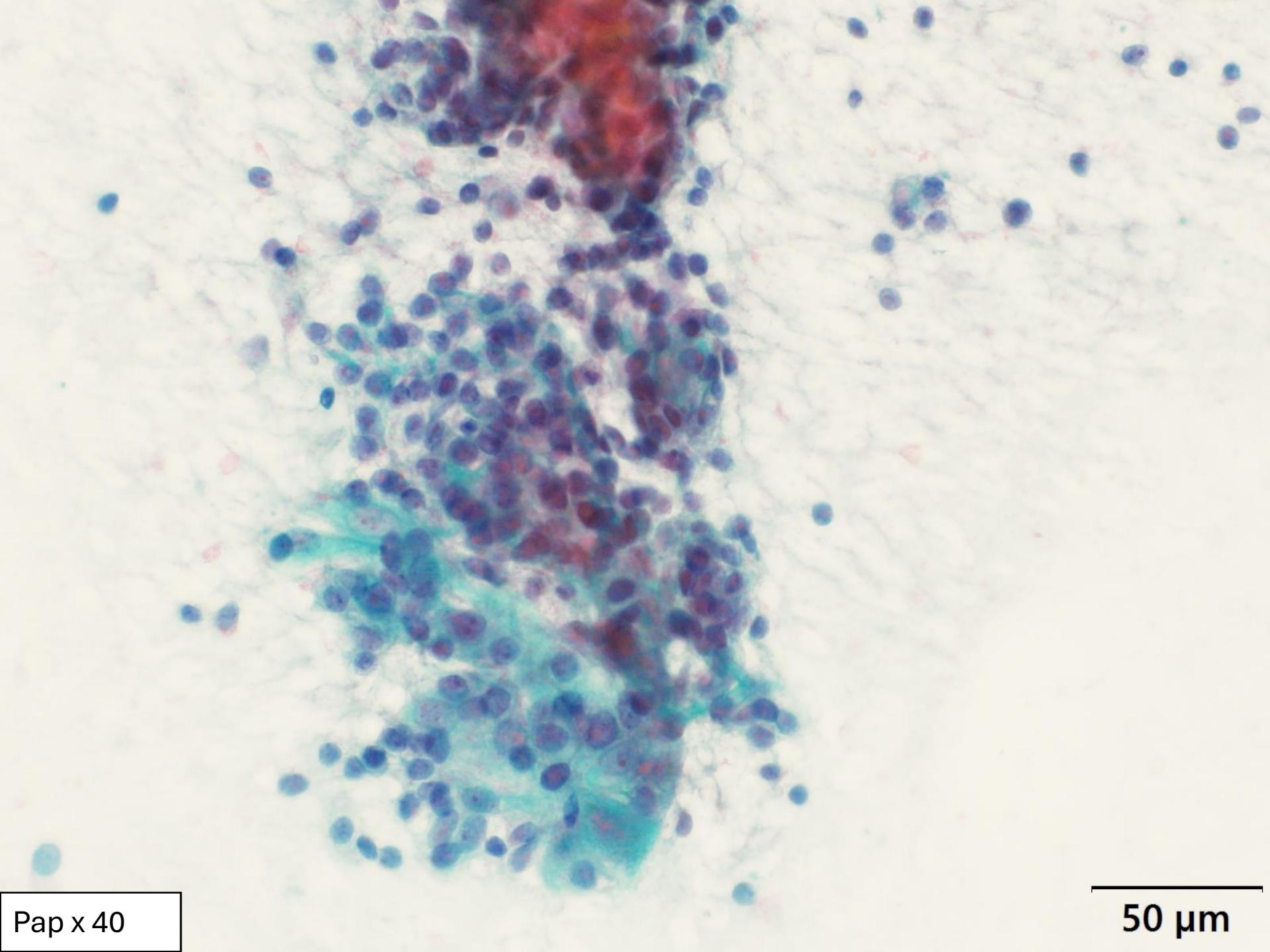


50 μ m

Pap x 20

100 μ m



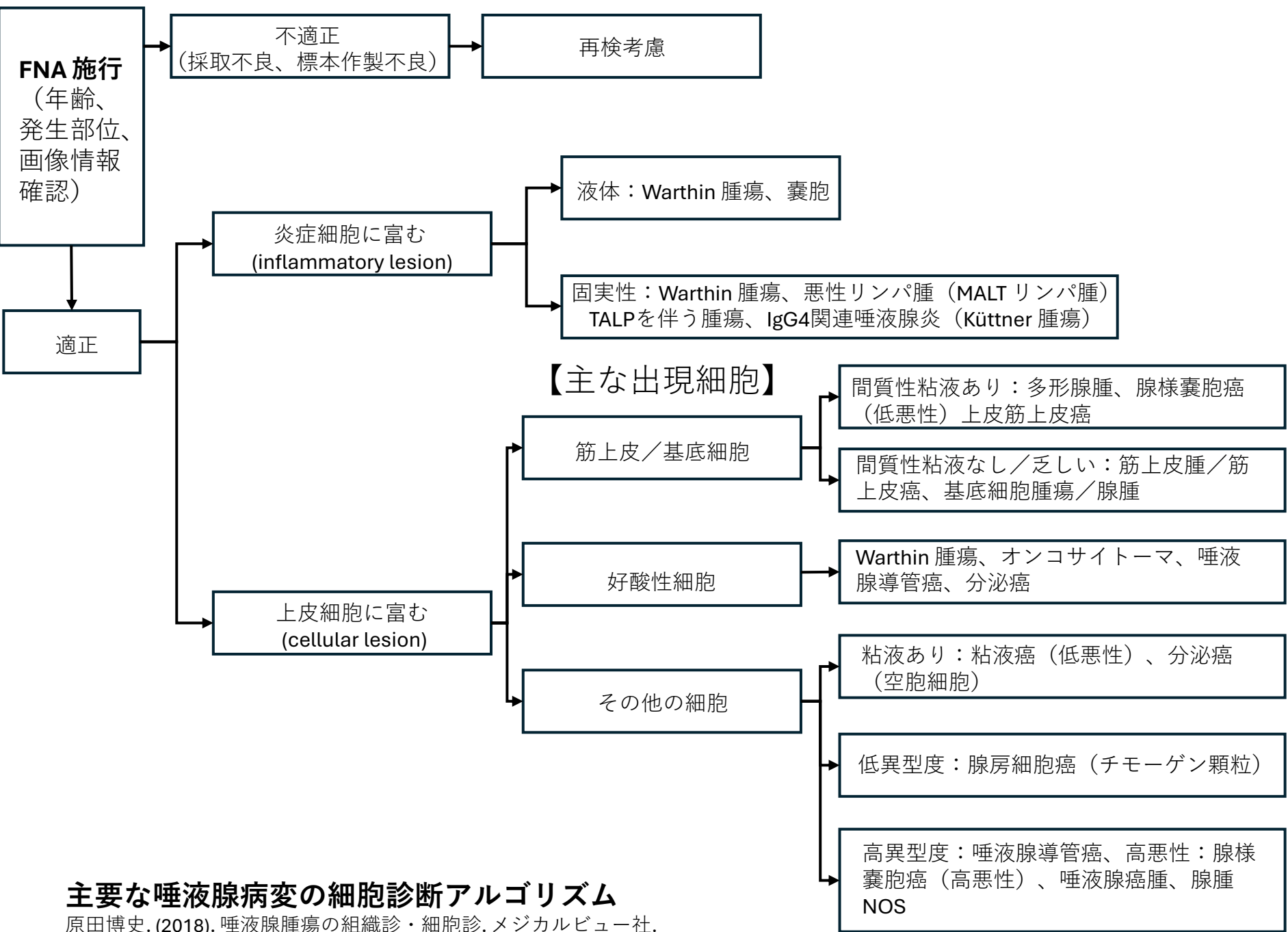


Pap x 40

50 μ m

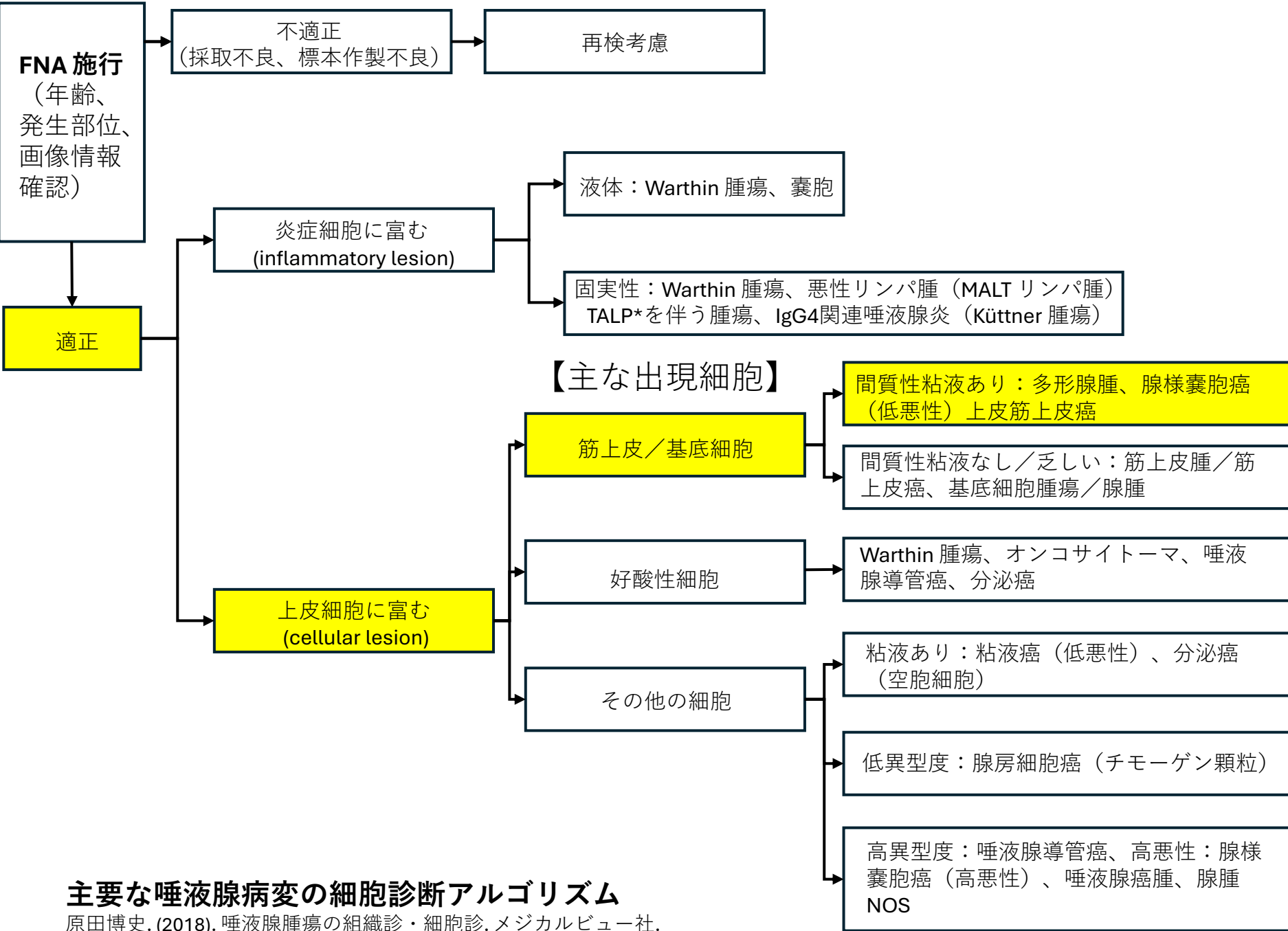
細胞所見

- 重積性があり、粘液球様物質を細胞が取り囲むような集塊
- 細胞境界は不明瞭で、裸核状または淡明な細胞質
- 核は類円形～短紡錘形で単調な像。集塊の一部に小型類円形核が混在
- クロマチンは細顆粒状で小型核小体を認める



主要な唾液腺病変の細胞診断アルゴリズム

原田博史. (2018). 唾液腺腫瘍の組織診・細胞診. メジカルビュー社.



主要な唾液腺病変の細胞診断アルゴリズム

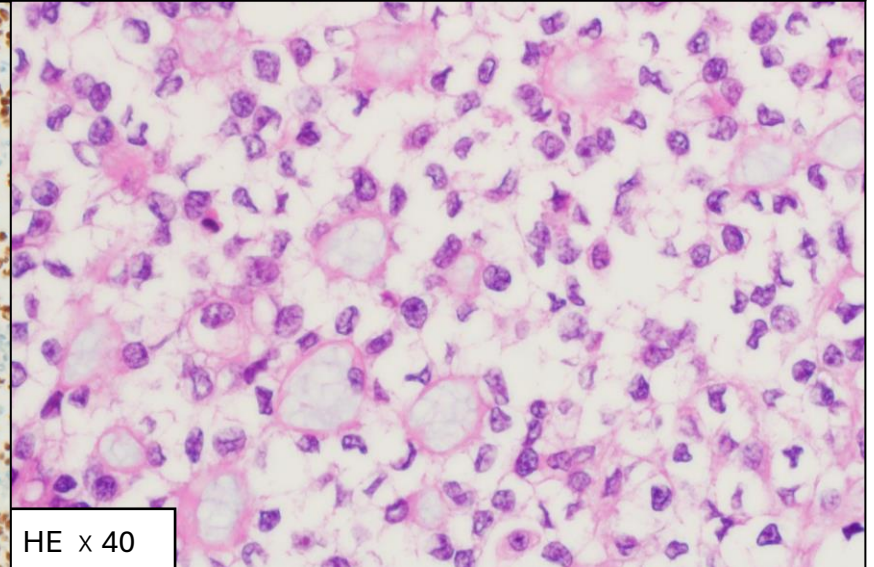
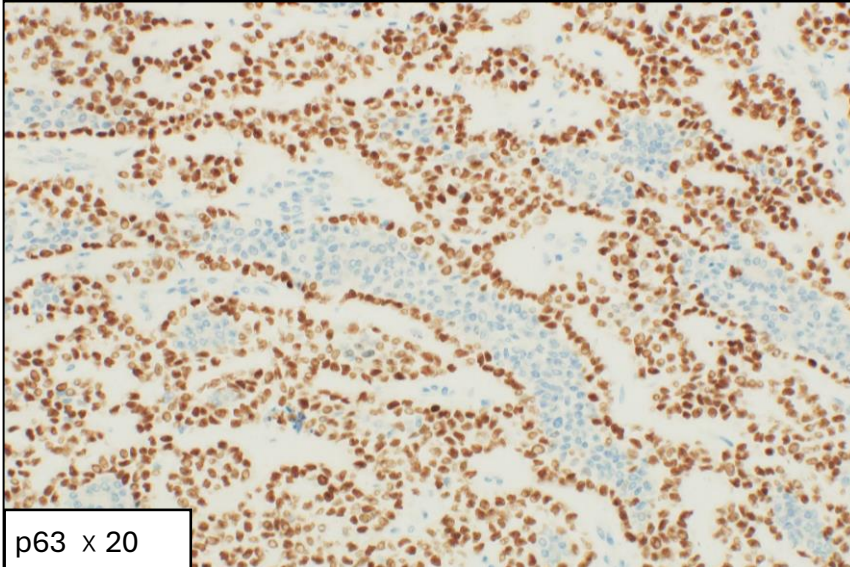
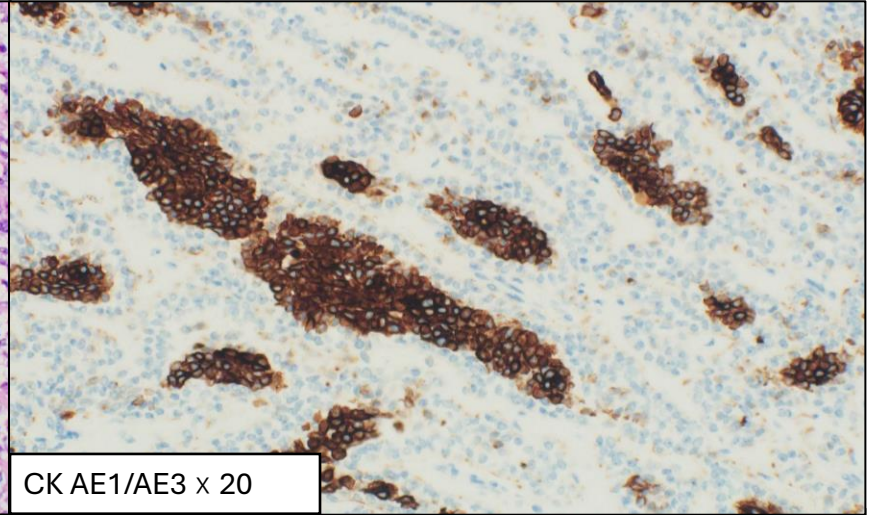
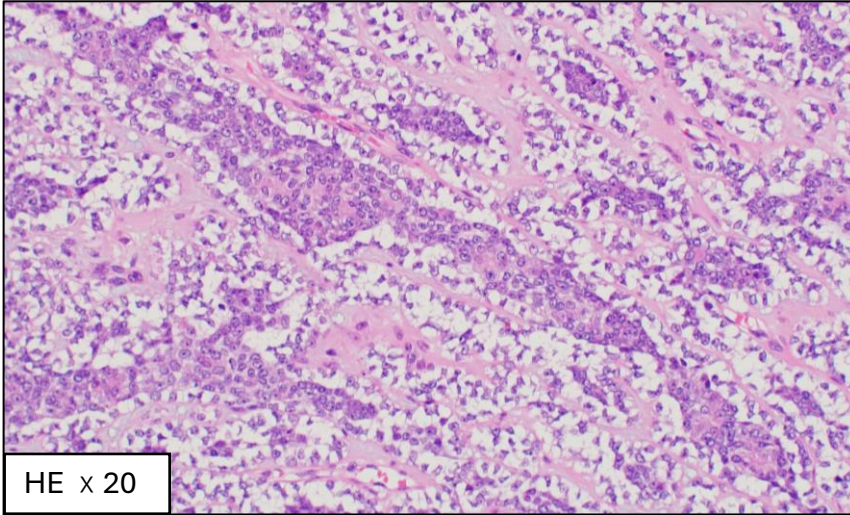
原田博史. (2018). 唾液腺腫瘍の組織診・細胞診. メジカルビュー社.

鑑別すべき疾患

- 腺様嚢胞癌（低異型度）
- 上皮筋上皮癌
- 多形腺腫

上皮筋上皮癌

Epithelial-myoepithelial carcinoma



上皮筋上皮癌

Epithelial-myoepithelial carcinoma

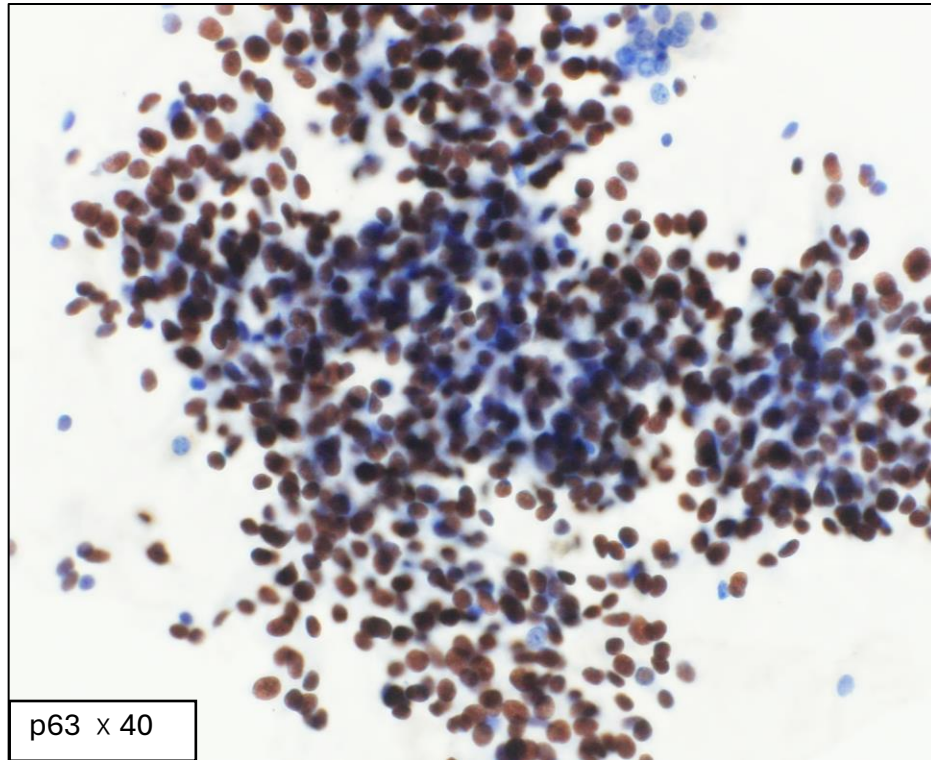
上皮筋上皮癌は全唾液腺腫瘍の約1%前後と比較的稀な悪性腫瘍であり、そのほとんどが耳下腺に好発する。好発年齢は60歳前後でその半数以上が女性とされている。

【細胞像】

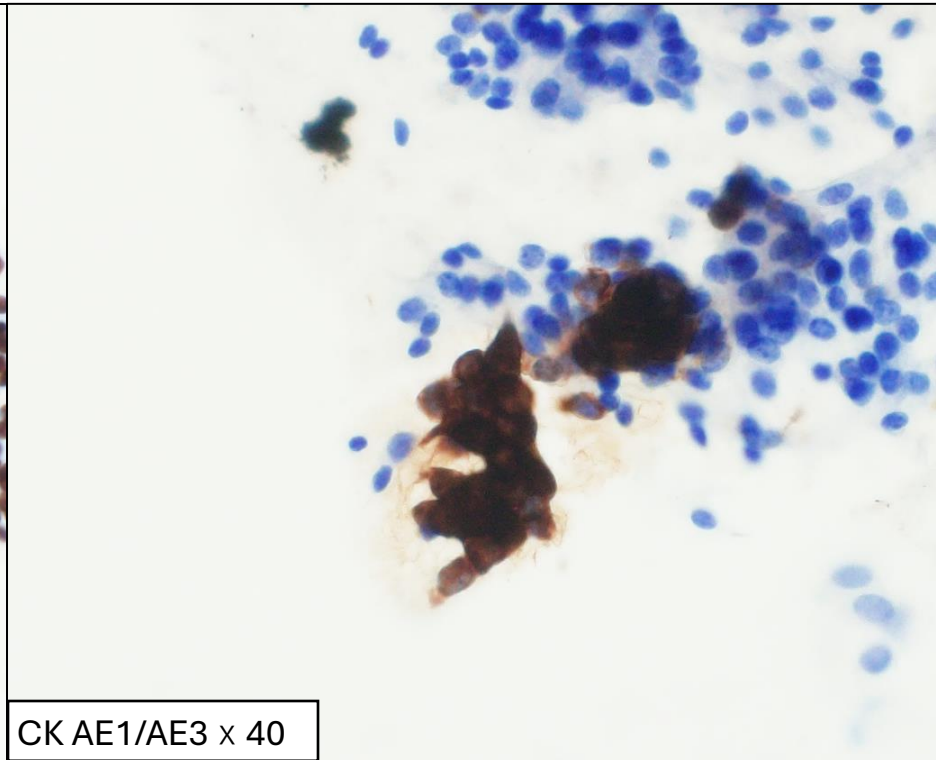
上皮筋上皮癌は管腔上皮細胞と淡明な細胞質を有する腫瘍性筋上皮細胞から構成されているので、これらが二相性の所見を示す。

	管腔上皮細胞	淡明筋上皮細胞
出現形式	シート状、管腔様、樹枝状	単調
細胞質	ライトグリーン好性	淡染あるいは裸核状
核	円形～類円形	類円形～紡錘形
クロマチン	細顆粒状	細顆粒状
核小体	小型	小型

上皮筋上皮癌



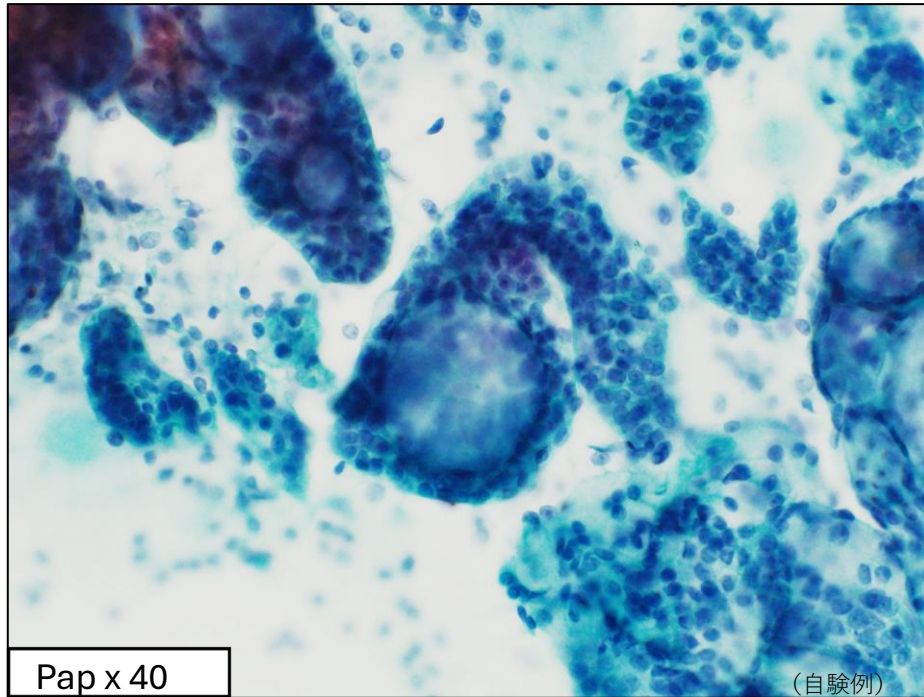
腫瘍性筋上皮細胞



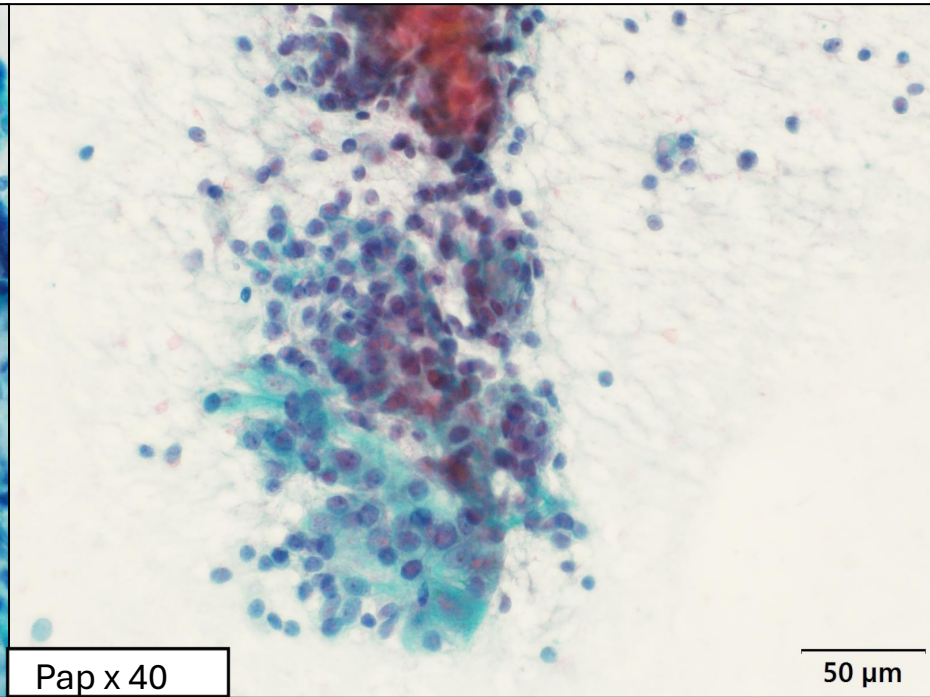
管腔上皮細胞

腺様嚢胞癌との鑑別

腺様嚢胞癌



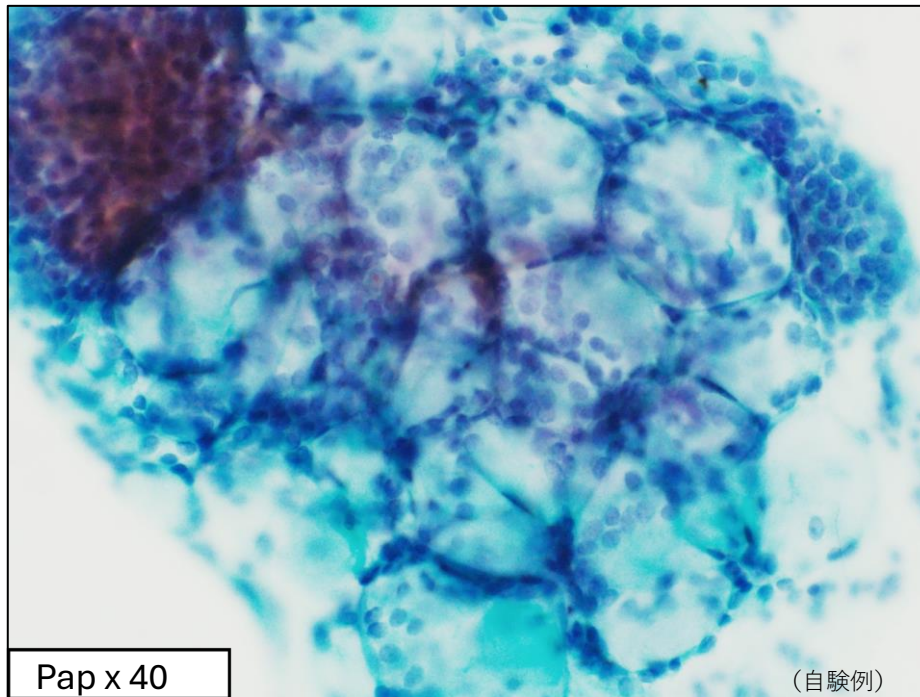
上皮筋上皮癌



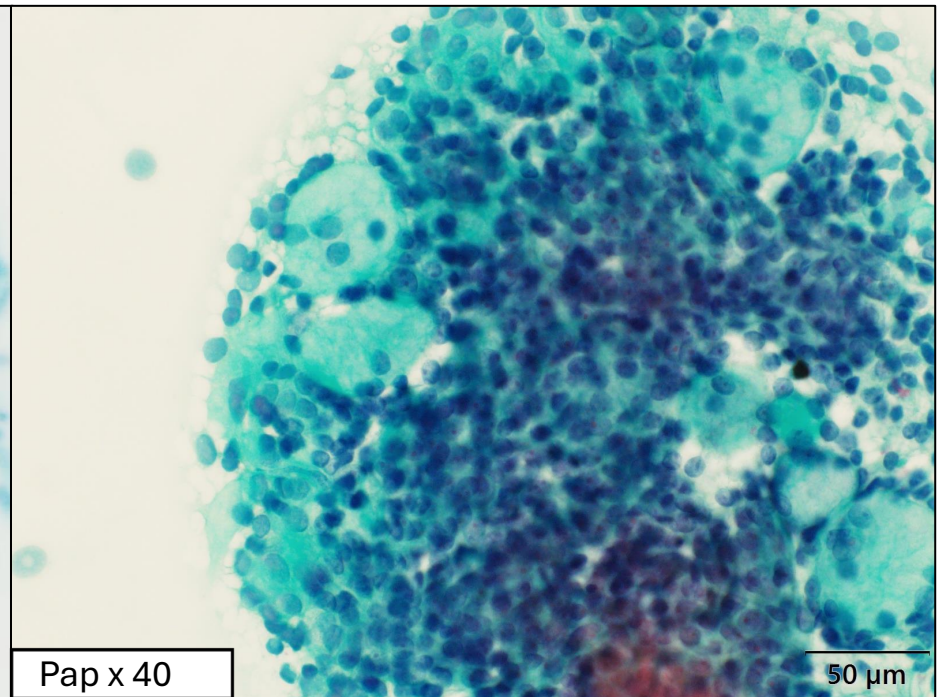
上皮筋上皮癌は腺様嚢胞癌と比較してやや大きい核を有する筋上皮細胞が特徴で、細顆粒状でやや明るいクロマチンを呈する。または大小不同を示す球状物質が多数見られることはない。

腺様嚢胞癌との鑑別

腺様嚢胞癌



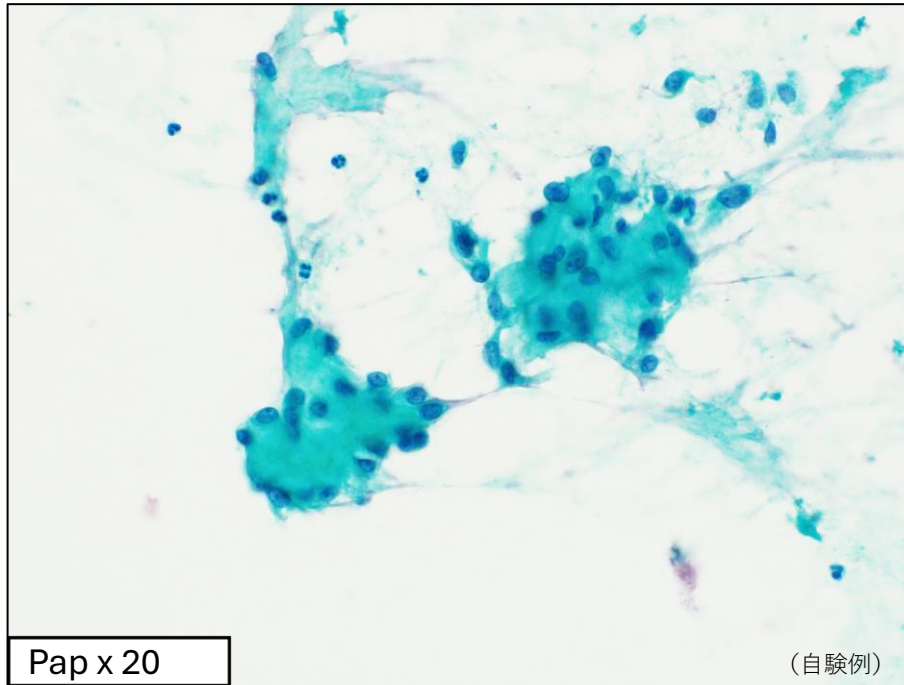
上皮筋上皮癌



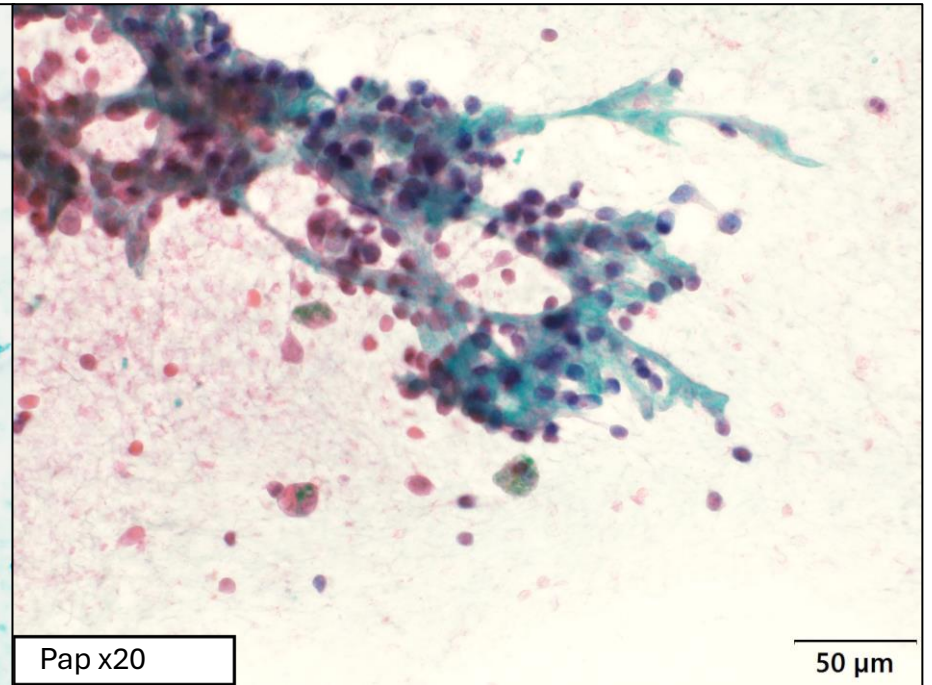
上皮筋上皮癌は腺様嚢胞癌と比較してやや大きく明るい細顆粒状のクロマチンを呈する。または大小不同を示す球状物質が多数見られることはない。

多形腺腫との鑑別

多形腺腫



上皮筋上皮癌



上皮筋上皮癌は多形腺腫と比較し、粘液種様間質を欠き、さまざまな形態を示す腫瘍性筋上皮細胞がみられず、単調な出現パターンを示す。

まとめ

- 耳下腺から採取され、球状物質を取り囲む様な細胞像が特徴であった上皮筋上皮癌の一例。
- 出現形式からすぐに腺様嚢胞癌と診断するのではなく、鑑別が必要な疾患を挙げ、細胞像を詳細に観察することで、上皮筋上皮癌を推定することが可能な症例であった。

〈参考文献〉

原田博史.(2018). 唾液腺腫瘍の組織診・細胞診. メジカルビュー社.
三上芳喜.(2021). 細胞診アトラス. 文光堂.